

SBSビジネスレポート

2012年12月期 期末株主通信

2012年1月1日～2012年12月31日

証券コード：2384

特 集

SBSグループ25年の軌跡

INDEX

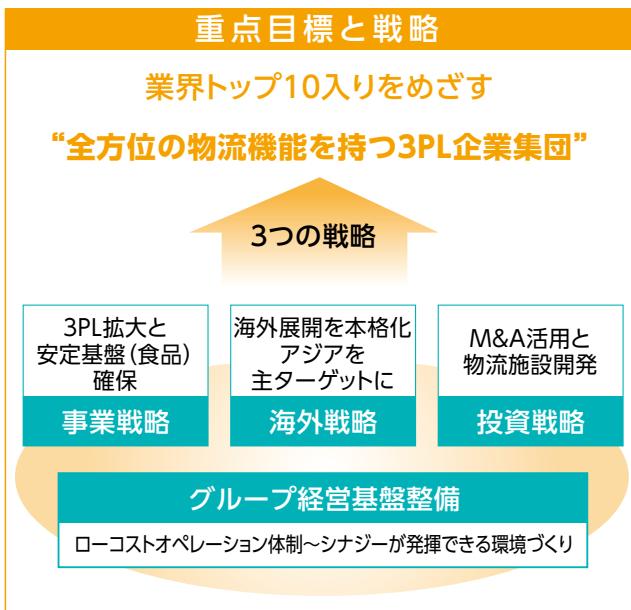
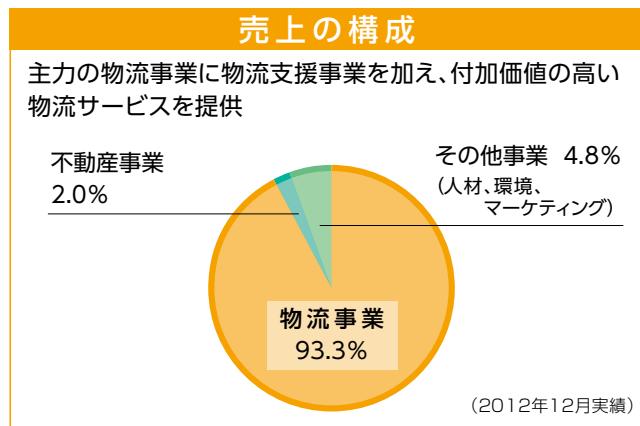
- 01 ビジネスハイライト
- 02 社長挨拶
- 03 特集
- 05 トピックス
- 07 連結業績
- 10 会社概要&株式の状況



SBSホールディングス株式会社

SBSグループ

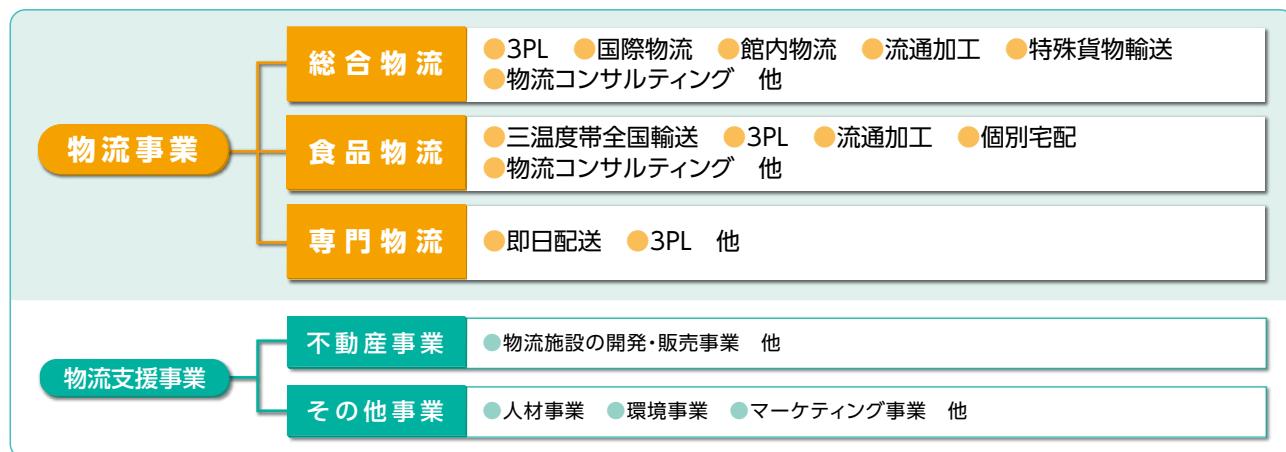
SBSグループは、あらゆる物流ニーズに優れた品質でお応えします。



2013年計画

売上高	営業利益	1株当たり配当金
1,280億円	31億円	30円

※1株当たり配当金につきましては、株式分割・単元株制度移行後の金額を記載しています。



※本資料の将来の見通しに係る記述は、現時点で入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確定な要素を含む仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。



アジア地域を中心に
海外拠点を確立。
事業基盤の拡大を図るとともに、
念願であった東証への
上場を果たしました。

代表取締役 鎌田 正彦

SBSグループは、あらゆる産業に繋がり、経済活動に必要不可欠な社会基盤のひとつである物流を事業領域としています。純粋持株会社のもとに、異なる生い立ちや歴史を持つ企業が有機的に集い、一体となって成長を続けています。

昨年は、世界経済の減速や長引く円高などを背景に、停滞感が一層強まり、物流業界では業者間の競争激化や不安定な燃料価格などもあり、厳しい環境が続きました。このような環境の下、当グループは提案営業を積極的に行い、3PL事業の拡大に努めました。また、今後、国際物流を積極的に展開するため、シンガポールにアジア地域統括会社を設立するなど、海外拠点の整備に着手し、将来の成長に向けた布石を打つことができました。

2012年12月、当グループは、創業25周年を迎えるとともに念願の東証第二部上場を果たすことができました。これも株主の皆様のご支援によるものと心より御礼申し上げます。上場を記念し、期末配当において1株当たり30円の普通配当に加え、10円の記念配当を実施することといたしました。

2013年度には、認知度の向上とシナジーの創出を目的にグループブランド統一を予定しているほか、東証一部上場をめざしてまいります。

今後もSBSグループは、事業拡大と経営基盤の充実に取り組んでまいりますので、末永くご支援を賜りますようお願い申し上げます。

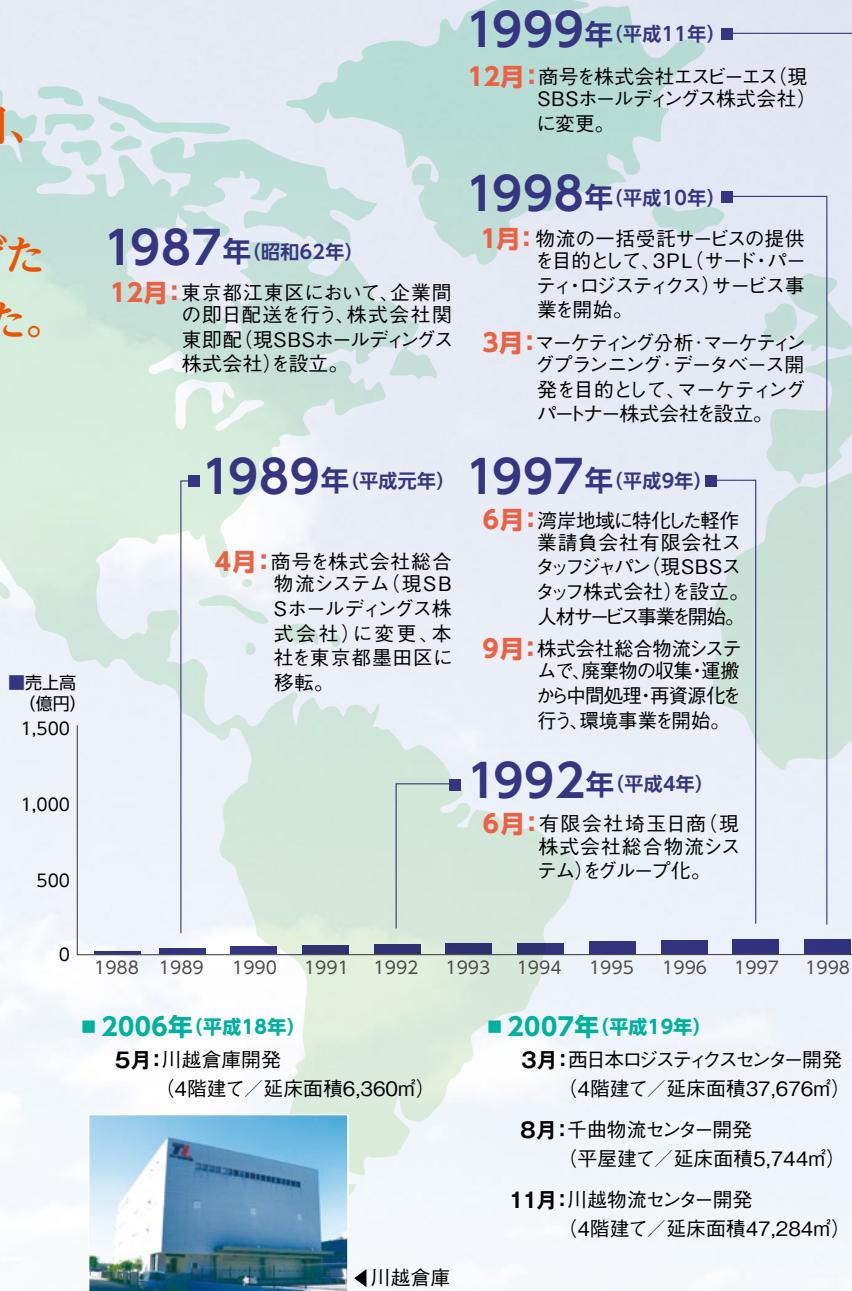
SBSグループ25年の軌跡

創業10周年で売上高100億円、
20周年で1000億円。
SBSグループは、創業時に掲げた
目標のとおり成長してきました。
これからは、30周年で
2000億円をめざします。

SBSグループは、1987年12月、当時としては画期的なサービスであった即日配送という新しい物流サービスを提供する物流会社、株式会社関東即配として誕生いたしました。その後、お客様のあらゆる物流ニーズにお応えできる総合物流企業をめざして、事業の拡大と深化に取り組んでまいりました。

創業25周年を迎えた現在、当グループは食品から特殊貨物まで取り扱える技術力、国内外を問わず対応できる輸送力、そして、物流施設の開発・運営までワンストップでご提供できる総合力を備えた総合物流企業グループに成長いたしました。

今後も成長速度を加速させ、売上高2000億円の達成と、国内物流企業のトップ10をめざしてまいります。



◀川越倉庫

2006年(平成18年) ■

- 1月:株式会社全通をグループ化。食品物流と個配機能を強化。
- 4月:商号をSBSホールディングス株式会社に変更し、純粋持株会社へ移行。

2005年(平成17年) ■

- 6月:東急ロジスティック株式会社(現ティーエルロジコム株式会社)、日本貨物急送株式会社などをグループ化。取扱貨物の領域拡大と3PL事業を強化。

2004年(平成16年) ■

- 5月:雪印物流株式会社(現フーズレック株式会社)をグループ化。食品物流へ進出するとともに全国ネットワークを構築。
- 9月:不動産の開発および証券化を目的として株式会社エーマックスを設立。物流施設開発事業を開始。

2003年(平成15年) ■

- 5月:事業領域拡大に向け国際物流を開始。
- 12月:日本証券業協会(現株式会社大阪証券取引所JASDAQ市場)に株式を店頭登録。

2012年(平成24年) ■

- 5月:シンガポールにアジア地域統括会社としてSBS Logistics RHQ Pte. Ltd.を設立。
- 7月:株式会社総合物流システムが中国・上海に販促や陳列用アクリル製店舗什器を製造する樹脂加工工場(上海慶亜留塑料加工有限公司)を設立。
- 12月:東京証券取引所市場第二部に上場。

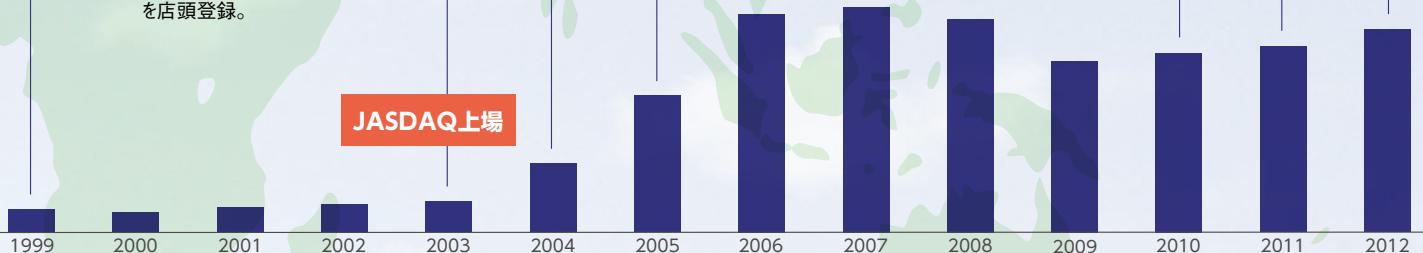
2011年(平成23年) ■

- 4月:日本レコードセンター株式会社をグループ化。音楽・映像媒体等の物流領域を獲得し、少量多品種物流を強化。
- 10月:インドの国際物流会社Atlas Logistics Pvt. Ltd.を初の海外子会社としてグループ化。海外ネットワークを拡大し、国際物流を強化。

2010年(平成22年) ■

- 4月:ビクターロジスティクス株式会社(2011年 ティーエルロジコムと合併)をグループ化。電機メーカー物流領域を獲得し、国際物流を強化。
- 7月:株式会社エイシーシステムコーポレーションをグループ化。通関事業を強化。

東証二部上場



■ 2008年(平成20年)

- 3月:君津資材第3倉庫開発
(平屋建て/延床面積15,524㎡)



◀川越物流センター

■ 2009年(平成21年)

- 3月:野田物流センター開発
(4階建て/延床面積35,567㎡)
- 11月:所沢倉庫開発
(2階建て/延床面積8,693㎡)



◀野田物流センター

■ 2012年(平成24年)

- 10月:野田吉春物流センター開発
(4階建て/延床面積25,375㎡)

▶所沢倉庫



SBSグループの取り組み



横浜港に通関業務の新拠点を開設

(エイシーシステムコーポレイション、(以下ACシステム))

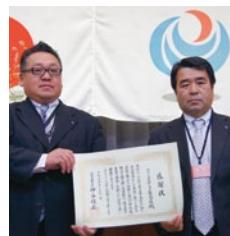
1月 通関業務を行うACシステムは、横浜港国際流通センター(YCC)内に横浜営業所を開設。同施設内にはティーエルロジコム海運支店もあり、連携による国際物流の強化を図ります。



震災支援の感謝状を授与される

(ティーエルロジコム、SBSロジテム)

3月・5月 東日本大震災における被災地への緊急物資輸送などの支援活動に対し、ティーエルロジコムおよびSBSロジテムが、関東運輸局より感謝状を授与されました。



改正派遣法セミナーを開催

(SBSスタッフ)

4月 昨年10月から施行された「改正派遣法」。その影響をご心配されていたお客様向けにセミナーを開催。改正内容のポイントや施行後の対応についてご説明いたしました。



シンガポールにアジア地域統括会社を設立

(SBSグループ)

5月 海外事業の要として、アジア地域を統括するSBS Logistics RHQ Pte. Ltd. (以下、SLRHQ) をシンガポールに設立。本格的なASEAN進出に向け、各国の拠点整備を開始しました。



中国上海に樹脂加工工場を開設

(総合物流システム)

7月 総合物流システムは、中国・上海にアクリル樹脂加工工場「上海慶垂留塑料加工有限公司」を設立。店舗用什器や販促備品などの製造・加工業務を開始しました。



経営体制の強化に向けて子会社を再編

(SBSグループ)

7月 日本貨物急送を存続会社とする伊豆貨物急送との合併、ティーエルトランスポートを存続会社とするティーエルサービスとの合併を実施。経営体制の強化と、サービス品質の向上をめざします。





東京都貨物輸送評価制度で 2社が高評価を受ける

(SBSグループ)

8月 CO₂削減を目的に東京都が開始した燃費改善を評価する取り組みに参加し、日本レコードセンターが最高評価の3星を、ティーエルロジコムが2星評価を獲得。今後もグループとして継続参加いたします。



野田吉春物流センターが竣工

(ティーエルロジコム)

10月 建設を進めていた野田吉春物流センターが完成しました。約1万坪の延床面積と環境へ配慮した最新設備を導入した大型施設が新たに加わり、グループの3PL事業がさらに拡大しました。



ASEAN地域の拠点整備

(SBSグループ)

10月 アトラス社(インド子会社)傘下のシンガポール、タイ、マレーシア、ベトナムの現地法人に資本参加。5月に設立したSLRHQの統括下とし、ASEAN地域の拠点を整備しました。



所沢にチルド全国共同 配送拠点を開設

(フーズレック)

11月 食品物流のフーズレックは所沢営業所に1500坪の低温倉庫を増設し、同社初のチルド食品共配専用センターを開設。最新の管理システムを導入し、食の安心・安全をお届けします。



12月14日

東京証券取引所 市場第二部に上場

12月14日、SBSホールディングスは東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。

東京証券取引所
静正樹常務執行役員(左)と
グループ代表鎌田正彦(右)

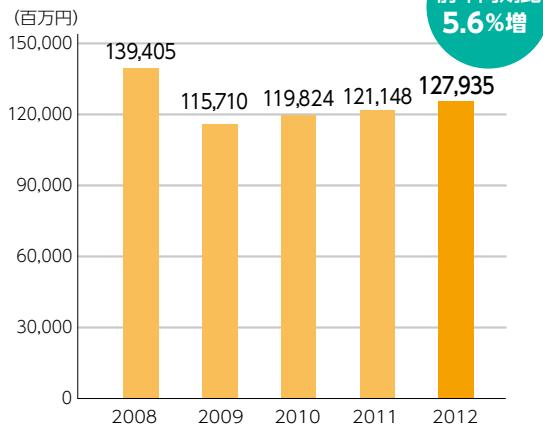


当期の連結業績

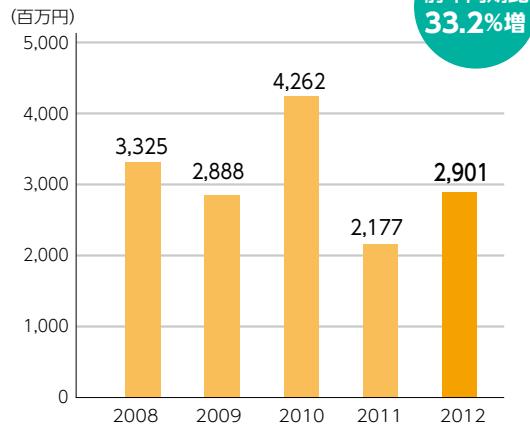
CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

厳しい経済環境が続いたものの、3PL業務の拡大や、前期に実施したM&A効果などにより、売上高は前年同期比で増加いたしました。営業利益および経常利益は、東日本大震災の影響がなくなったことや、業務効率の向上を図ったことなどにより大幅増益となりました。一方、当期純利益は、次年度に実施する倉庫統合に係る設備の減損損失を前倒しで特別損失に計上したことや、法人税等調整額の増加により、前年同期で減少いたしました。

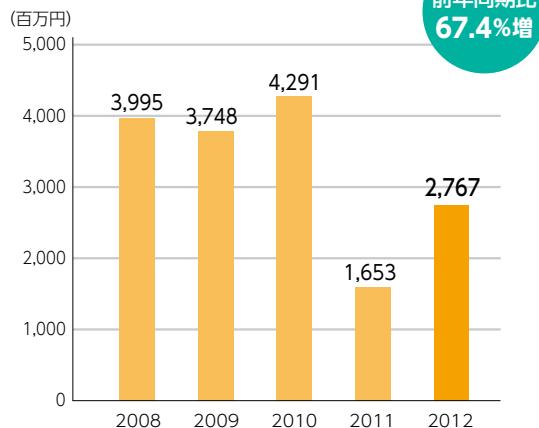
■ 連結売上高



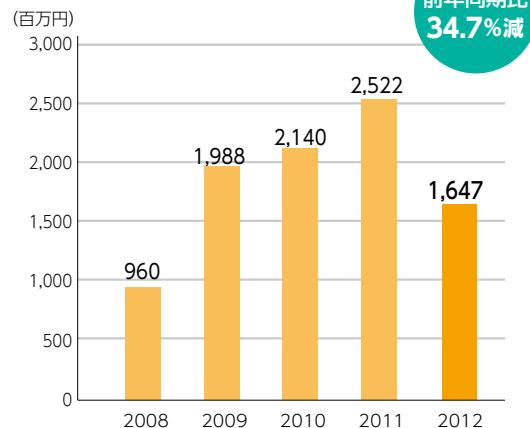
■ 連結営業利益



■ 連結経常利益



■ 連結当期純利益



■ セグメント別概要

(単位:百万円)

	2012年通期				2011年通期	
	売上高	前期比	営業利益	前期比	売上高	営業利益
物流事業	119,330	5.9%	1,728	36.6%	112,698	1,265
不動産事業	2,504	4.6%	1,206	9.6%	2,392	1,101
その他事業	6,100	0.7%	44	-	6,057	△211
合計	127,935	5.6%	2,901	33.2%	121,148	2,177

※上記の表は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

- **物流事業**：M&Aで新たにグループ入りした2社の業績が加わったこと、食品関係の荷動きが活発であったことなどにより、売上高は増加いたしました。また不採算業務の改善が進んだことや、震災の影響によるコスト負担がなくなったことで営業利益は増加いたしました。
- **物流支援事業**：不動産事業では賃貸用不動産の賃貸収入の増加などにより、売上高・利益ともに増加いたしました。一方、その他事業は売上高は減少したものの環境事業において管理コスト削減などが進み営業利益は黒字に転換いたしました。

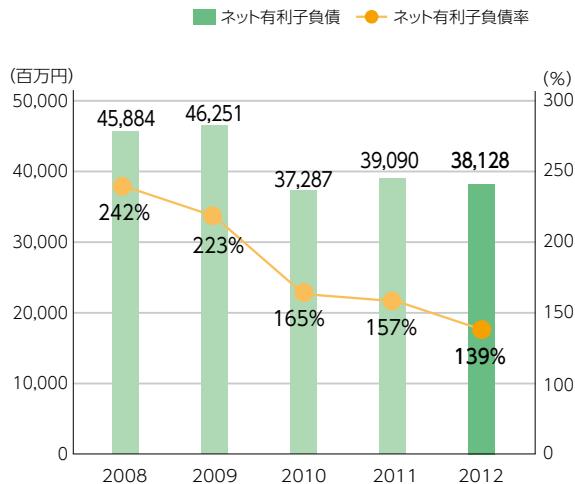
■ 2013年12月期 業績予想(セグメント別)

(単位:百万円)

	売上高	増減率	営業利益	増減率	営業利益率
物流	119,160	△0.1%	1,800	4.2%	1.5%
不動産	2,660	6.2%	1,220	1.2%	45.9%
その他	6,180	1.3%	80	81.8%	1.3%
合計	128,000	0.1%	3,100	6.9%	2.4%

※業績予想の数値は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

■ ネット有利子負債／ネット有利子負債率



■ 純資産／自己資本比率



利益配分に関する基本方針及び1株当たり配当金

■ 1株当たり配当金の推移



※1株当たり配当金につきましては、株式分割・単元株制度移行後の金額を記載しています。

利益配分に関する基本方針

SBSグループは、株主の皆様への利益還元を経営の最重要施策のひとつと位置付け、より強固な経営基盤の構築、および株主資本利益率の向上を図るとともに、業績に配慮しつつ安定的な利益還元に努めています。

2012年12月期につきましては、1株当たり普通配当30円に東京証券取引所市場第二部への上場記念配当10円を加えた40円とさせていただきます。

なお、2013年12月期につきましては、配当金を30円とさせていただきます。

会社概要&株式の状況

CORPORATE PROFILE & STOCK INFORMATION

SBSビジネスレポート 2012

会社概要 (2012年12月31日現在)

社名 SBSホールディングス株式会社
 代表取締役 鎌田 正彦
 創立 1987年12月16日
 資本金 38億3,393万円
 売上高 1,279億円(2012年12月期連結)
 所在地 〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3
 TEL:03-3829-2222(代表)
 FAX:03-3829-2822

事業内容 物流事業、不動産事業、マーケティング事業、
 人材事業 他

主要連結子会社 ティーエルロジコム株式会社
 フーズレック株式会社
 株式会社全通
 SBSロジテム株式会社
 SBSスタッフ株式会社
 アトラス ロジスティクス プライベート リミテッド
 株式会社総合物流システム
 SBSファイナンス株式会社
 株式会社エーマックス
 マーケティングパートナー株式会社
 株式会社ぱむ

役員 (2013年3月26日現在)

代表取締役 鎌田 正彦
 常務取締役 入山 賢一
 取締役 渡邊 誠
 常勤監査役 渡邊 進一郎
 監査役 正松本 重孝
 監査役 竹田 正人
 監査役 岩崎 二郎

監査役のうち、正松本重孝、竹田正人、岩崎二郎は社外監査役です。

株式の状況 (2012年12月31日現在)

発行可能株式総数 51,568,400株
 発行済株式の総数 13,068,400株
 (自己株式41株を含む)
 単元株制度の有無 有
 株主数 3,544名

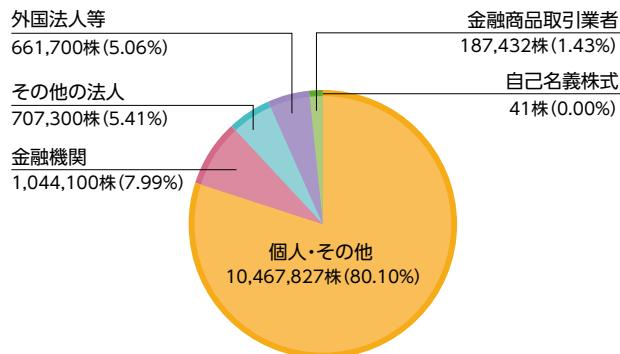
大株主の状況 (2012年12月31日現在)

株主名	持株数	持株比率(%)
鎌田 正彦	6,362,800	48.68
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	559,100	4.27
SBSホールディングス従業員持株会	539,100	4.12
伊達 寛	384,800	2.94
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウ	334,800	2.56
大内 純一	309,400	2.36
東武プロパティ株式会社	285,600	2.18
ステート ストリート バンク アンドトラスト クライ アント オムニバス アカウ アーエムゼロツ	200,000	1.53
吉岡 博之	188,900	1.44
株式会社スリーイーコーポレーション	156,000	1.19

※持株比率は自己株式(41株)を控除して計算しております。
 なお、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)は、従業員持株会信託における再信託先であり、従業員持株会信託口が保有する当社株式308,600株を含んでおります。

所有者別株式分布状況 (2012年12月31日現在)

(発行済株式総数:13,068,400株)



株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日

期末配当金受領株主確定日 12月31日

定時株主総会 毎年3月開催

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部

公告方法 公告掲載URL
<http://www.sbs-group.co.jp/>
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた
ときには、日本経済新聞に公告いたします。

【ご注意】

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

SBSホールディングス株式会社

〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3 オリナスタワー
TEL:03-3829-2222(代表) FAX:03-3829-2822

